

飯坂ロータリークラブ 週報

創立 昭和33年(1958)5月5日
 ガバナー 佐藤 正道
 ガバナー補佐 網代 智明
 会長 石川 邦俊
 幹事 紺野 容樹

情熱 行動
 感動 共有
 地区重点目標
 1. DEI を取り入れた会員増強拡大
 2. よりインパクトのある奉仕事業の実践
 3. 活動の情報発信
 4. ネットワークの構築
 5. ポリオ撲滅

2022 - 2023 年度 ◆ 例会日/木曜日 12:30 ◆ 例会場/かむろみの郷 穴原温泉 匠のこころ 吉川屋
 RI会長 ジェニファー・ジョーンズ 事務局/〒960-0211 福島市飯坂町湯野字新湯6 (吉川屋内) ☎(024)542-2226 FAX(024)543-1433
 ウィンザー・ローズランドRC (カナダ・オンタリオ州)

通算

5月は青少年奉仕月間

第38回 [3110] 例会報告 令和5年(2023) 5月18日(木)

出席委員会報告

会員総数	38名
出席会員	24名
欠席会員	14名
出席率	63.16%

言行はこれに照らしてから 「四つのテスト」

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

◆開会点鐘 石川邦俊 会長

◆ロータリーソング [それでこそロータリー] 小笠原尚史 ソングリーダー

◆四つのテストの唱和 白岩裕和 職業奉仕委員

◆お客様紹介 🌻(株)アンドテラス 代表取締役 齋藤康之 様

.....lunch time.....

◆会長の時間

本日はゲストスピーチとして、アンドテラス代表取締役の齋藤様に大変お忙しいところ、おいでいただきましてありがとうございます。後ほど、スピーチをお願いしたいと思います。皆さんもご存知のように、5月に入りまして、石川県と千葉県で大きな地震があり、大変な被害が出ております。また、八丈島でも地震があり、全国あちこちで地震が起きております。今回被災された方々には、心からお見舞いを申し上げますと共に、1日も早い復興を祈っております。日本列島はどこで被災するかわかりませんので、普段から防災の意識を持つことが大事ではないかと思っております。さて、ここ数年、私たちの生活に影を落としていた新型コロナウイルス感染症ですが、日本でも5類に移行となり、感染対策が緩和され、人の動きも活発になり、行動範囲も広がってきております。そんな中で、皆さんからも以前の例会の状態に戻ったらどうかというご意見がありまして、吉川屋会長にご相談をしましたら、快くお引き受けいただきました。皆さんと共に、今後も感染しないように注意しながらやっていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。



◆幹事報告 紺野容樹 幹事

- A. 月信 「ガバナー月信」5月号 No.11
- B. 来信 ①ガバナーエレクト 右近八郎 氏より 「ポリオ撲滅キャンペーン企画募集について」

◆県北第二分区次期幹事セミナーについての報告 菅野浩司 次期幹事

4月27日の次期幹事セミナーに、現幹事の紺野容樹幹事と次期幹事予定の私とで参加をさせていただきました。講師のバスターガバナー芳賀裕様の講義をお聞きしまして、幹事の役割や幹事の心がけについて、しっかり学んできたつもりですので、次年度に生かしていきたいと思っております。

◆梁川ロータリークラブ合同例会(山菜例会)/地区協議会についての報告 齋藤孝裕 会長エレクト

去る4月30日に梁川希望の森公園におきまして、梁川ロータリークラブさんがホストで、山菜例会が開催されました。私ども飯坂ロータリークラブからは、私を含め9名の会員と奥様が3名、丹野さんの計13名が、吾妻会員のマイクロバスでお世話になってまいりました。山菜の種類がかなり多くあり、初めて名前を聞くような山菜もありました。改めて感動したのは、吾妻会員がお酒を飲まれたので、帰りの大型バスの運転は奥様でしたが、素晴らしいドライビングテクニックで本当に感動をいたしました。また、5月13日にパルセイイざかにおきまして、第2530地区2023-24年度地区研修・協議会が開催されました。私は会長会が全体会の前に開催されましたので、まず会長会に出席をして、その後に全体会へ、そして、食事の後はセッション会場に分かれまして、それぞれの地区の研修を受けてまいりました。今回参加された方は、次期幹事の菅野浩司会員、会員増強の千葉政行会員、公共イメージの高田薫会員、職業奉仕の西山友幸会員、社会・国際奉仕の鈴木牧子会員、青少年奉仕・ローターアクト・学友の油井明則会員、ロータリー財団の安齋忠作会員、米山記念奨学会の佐藤喜市郎会員、地区役員から佐藤真也会員が出席されました。皆さん、お疲れ様でした。以上です。

◆スマイリングBOX 西脇徳幸 委員 【合計27s】

渡辺 哲也 会員 5s 同伴者と運こ恵まれ、飯坂RCのコンペで優勝することができました。ありがとうございました。本日のスピーチよろしく願います。
 石川 邦俊 会員 3s アンドテラス齋藤康之様のスピーチたのしみになっています。
 紺野 容樹 会員 3s ゲストスピーカーに齋藤康之様をおむかえて
 千葉 政行 会員 3s ・アンドテラス齋藤様をおむかえて。 ・ゴルフコンペおつかれさまでした。
 齋藤 孝裕 会員 3s アンドテラス齋藤様をお迎えて!!
 鈴木 牧子 会員 3s ゲストスピーカーをお迎えて。
 堀切 孝敏 会員 2s 久しぶりです。
 佐藤 真也 会員 2s (株)アンドテラス齋藤康之様をゲストにお迎えて 地区研修協議会、ゴルフお疲れ様でした。夜間例会欠席おわび
 渡辺 賢司 会員 2s 妻の誕生日にきれいなお花が届きました。ありがとうございました。アンドテラス齋藤社長のスピーチよろしく願います。
 菅野 浩司 会員 1s ゲストに(株)アンドテラス齋藤康之様をお迎えて。本日はよろしく願いいたします。

◆ゲストスピーチ

株式会社アンドテラス 代表取締役 齋藤康之 様



株式会社アンドテラス代表取締役の齋藤康之と申します。よろしくお願いいたします。この度は貴重なお時間をいただきましてありがとうございます。障害者の就労移行支援事業ということで、弊社はまだ去年の5月に始まったばかりで、一般就労には繋いでおりませんが、利用者さんが10名の中で、日々トレーニングをしています。では、簡単にお話を進めさせていただきます。



ゲストスピーカーを紹介する渡辺賢司会員

私は昭和45年2月1日生まれです。飯坂生まれの飯坂育ちで、中野の農家の長男に生まれ、21歳で結婚し、22歳で子供が生まれました。その子供に知的障害がありました。生まれてすぐはわからなかったのですが、学校に行く中で、言葉が遅かったりということがあり、そういうところからの始まりでした。私は36歳までは企業に勤めておりましたが、農業は自分で作って、販売まで自分の責任でできるので、とても興味を持ち面白いと感じて、父が果樹農家をやっておりましたので、妻とも相談して果樹農家を始めました。残念なことに震災がありまして、その時にはお客さんが4分の1に減って、大変な苦労もありましたが、今思えばいろんな経験をしました。おかげさまで4年後には売上は震災前に戻り、法人化もさせていただきました。

会社の概要ですが、株式会社アドテラスは今から6年前、まずは放課後等デイサービスとして、小学校、中学校、高校生の障害のある子ども達が、学校が終わった後に療育として、将来の社会生活の自立に向けた支援をしています。スタッフは基本的に厚労省の事業なので資格が必要です。もう一つは、就労移行支援事業所です。こちらは18歳以上、学校を卒業した方で64歳以下、その中で障害があつて、しかし、一般人の企業で働きたいという方を対象に、最長で2年間トレーニングをする場所になります。これは去年5月から始めています。経営理念としては、障害のある方たちの人生に貢献し、そのライフステージに合わせた支援をしていきたいと思っています。最後は親がいなくなっても、安心して住める場所ということまで、会社としてやっていきたいと思っています。使命ですが、今お話しをしたように、障害者の方の人生に貢献したいということです。人生のライフステージに合わせた、心穏やかに住める場所、自立に向けた支援ができる場所をつくっていくということ、地域福祉のためにというところでは、その利用者のために“質”がとても大切だと思います。ですから、模範となる事業所をつくってきたいという思いがあります。そのためにも社員がとても大切になってきます。子供の成長に関わる人間がとても大切ですので、良い人材育成についても気を遣っています。会社としての考え方ですが、まずは未就学児の0歳から6歳の特性がある子どもを預かって養育する『児童発達支援』、これは厚労省の管轄外の事業です。次に、私たちがやっている小学生、中学生、高校生を対象とした『放課後等デイサービス』、18歳以上の方については『就労移行支援』、これは就労に向けたトレーニングをして、一般就職を目的としています。その次に『就労継続支援A型』、これは最低賃金を払いながら仕事をするという事業です。収益事業で、スタッフの人件費は利用者が来たことによって国からお金が出るので、民間とはちょっと違う福祉事業です。また、仕事がなかなかできづらい方が行く事業所は『就労継続支援B型』になります。これと並行してあるのがグループホームです。この『就労移行支援』については、18歳以上で64歳未満の方です。一般の企業で働きたいという方を対象としています。また、学力というよりもコミュニケーション障害というところで、そういうところが苦手な方がいます。利用料金ですが、基本的に収入がなければ0円です。年間300万円以上、課税世帯だといくらか発生しますが1割程度です。利用期間は原則2年。施設福祉事業所を利用するよりも、立派に社会に出てほしいというのが国の方針でもありますので、今後も一般就労を目指す事業所がどんどん増えていく状態です。就職までの流れですが、まず準備期、1週間で2、3回、午前中だけでも来て、だんだん慣れてきたら、毎日来れるようにトレーニングする方もいます。中には本当に普通に來れる方もいるし、Zoom、オンラインなど在宅での支援などもあります。あとは実習期ですが、このトレーニングが本当に大事だと思います。実際に企業様の現場に入らせていただきますが、本当にマッチングが大切だと思います。就職活動では職安さんとも連携し、障害者雇用についての情報をいただきながら訪問し、トレーニングをさせていただいています。一番大切なのは終了してからです。半年間での離職率がとても高いので、半年間は事業所の職員が企業さんに行き、フォローを行っています。これは就労準備制ピラミッドと言いますが、まずは土台として安定した日常生活ができることが大切です。次に人との関わり方、コミュニケーションを学びます。ここから順々にスモールステップでやっていきましょうということで、プログラムを作りながらやっています。座学として、ビジネスマナー全般を学んだり、あとは、やはり現場実習です。これは我々のカリキュラムですが、実践でトレーニングをするものもあり、製造業的なものだったり、文書管理だったり、パソコンソフトを使ったり、その人に合った仕事を学んでいます。

最後に、労働局の方から障害者職場実習のご協力のお願いですが、資料をご覧ください。実習を受け入れてくださる企業さんに対して、1日約3時間程ですが、お金をお支払いするというシステムがあります。私の果樹園でも事業所の方たちに年間を通して仕事をしていただいておりますが、制度があつても農業と福祉の連携は、なかなか広まっていきません。しかし、一緒に関わっていくと、いろいろな方がいるなと感じます。まずは慣れていただいて、一歩踏み出していただければと思います。そうなれば、いろいろな人たちが、多様性を持って働ける社会になっていくと思います。将来は障害がある人もない人も、一緒に仕事ができ、心豊かな社会になればいいなと思っておりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。今日はありがとうございました。◆閉会点鐘 会長

■第12回理事会開催 5月18日(木) 13:30~「吉川屋」

《内容》①2023-24年度小委員会所属について ②最終夜間例会について ③親睦旅行について ④飯坂小学校太鼓クラブへの寄付について ⑤その他
《出席者》石川邦俊、紺野容樹、齋藤孝裕、菅野浩司、生田目正志、鈴木牧子、鈴木重忠、鈴木義明、佐藤真也、渡辺賢司、油井明則 以上の会員